

# 清水町 議会だより



“笑顔  満彩”

## 清水町ドリームキッド

高円宮賜杯第41回全日本学童軟式野球  
マクドナルド・トーナメント

静岡県予選大会 **優勝!**

**全国大会**に出場しました!!

(14Pに掲載)

令和2年度決算を認定 ..... 2

補正予算  
小規模事業者応援給付金 第5弾 ... 7

一般質問 6人が町政を問う ..... 8

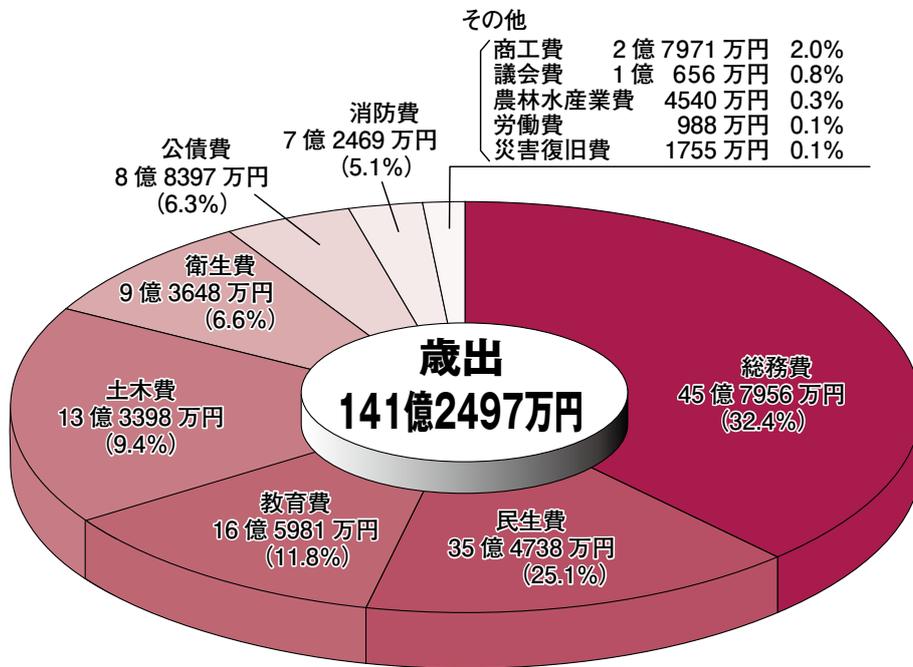
**特集** 創設16年目 念願の夢舞台 ... 14

令和2年度政務活動費を公開します... 16

# GIGAスクール環境整備など

## 9月議会

令和3年第3回定例会を9月1日から27日までの27日間にわたって開催しました。  
令和2年度決算の認定や新型コロナウイルス感染症対策に係る補正予算、清水町固定資産評価審査委員会委員の選任、清水町教育長の任命などの15議案と、議員発議による意見書1件が提出され、すべて可決しました。  
一般質問では、6人の議員が質問しました。



### 一般会計・特別会計の決算の状況

会計名	歳入	歳出	採決の結果
一般会計	144億8300万円	141億2497万円	賛成11人反対2人
特別会計			
土地取得	270万円	270万円	全員賛成
国民健康保険事業	28億8410万円	28億1446万円	賛成11人反対2人
介護保険事業	24億2523万円	23億2213万円	賛成11人反対2人
後期高齢者医療	4億2343万円	4億870万円	賛成11人反対2人
計	57億3546万円	55億4799万円	

## の主な事業

### GIGAスクール環境施設整備

1億4048万円

小中学校の校内LAN整備や児童生徒用端末を配備をした。



### 丸池周辺整備

4059万円

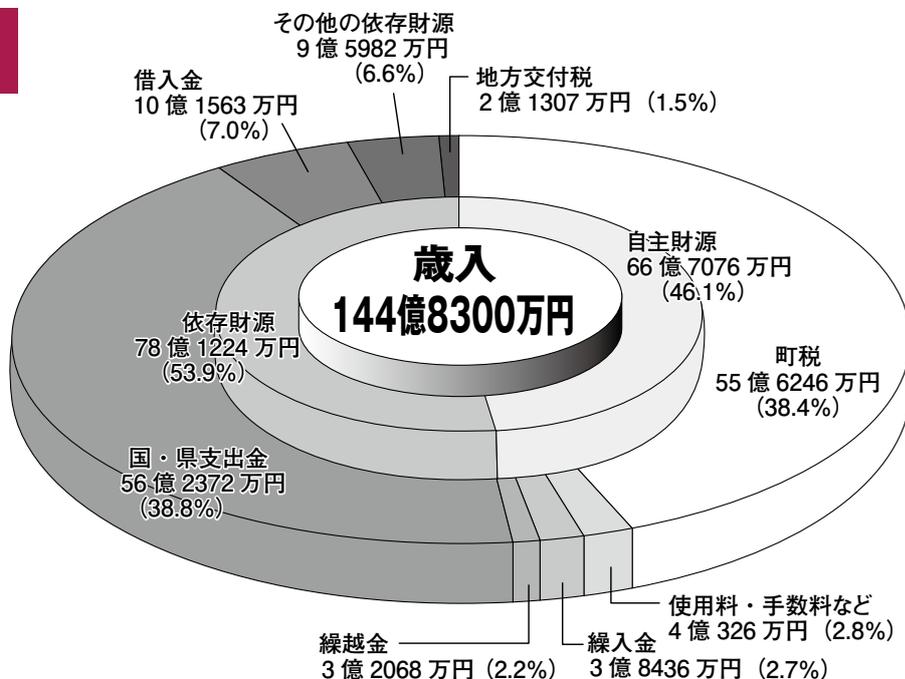
丸池連絡橋の整備及び案内板を設置。



# 令和2年度 決算を認定

## 新型コロナウイルス感染症対策

### 一般会計



### 公営企業会計の決算の状況

会計名	科目名	収入決算額	支出決算額	採決の結果
下水道事業	収益的収入・支出	9億5861万円	8億8638万円	全員賛成
	基本的収入・支出	11億5326万円	12億8192万円	

## 令和2年度

### 同時通報用無線整備

9872万円

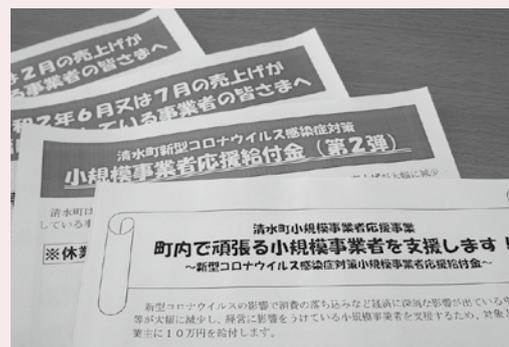
3カ年事業の最終年度となった同時通報用無線整備事業が完了。



### 新型コロナウイルス小規模事業者 応援給付金

1億1660万円

事業継続を支援するため、小規模事業者に応援給付金を給付した。



# ように使われたか 審議しました

## ふるさと納税

**Q** ふるさと納税で、清水町に寄附があった額と、町外の自治体へ寄附して清水町で税額控除された額は。

**A** 寄附件数 342 件。  
寄附額 469 万 9 千円。  
税額控除額 3806 万円。

## ゆうすいポイント

**Q** 事業開始以来、総事業費約 8100 万円が投入されたが、加盟店舗数などは目標には達していない。今後も事業を継続するのか。

**A** 加盟店や流通ポイントを増やすという目的だけではなく、他県の先進事例も参考にしながら、清水町で地域経済を循環させていく仕組みを研究しながら進めていきたい。

**Q** 清水町の小規模事業者 208 店舗のうち実際に加入しているのが 74 店舗で少ないと思うが、町の見解は。

**A** 地域経済を活性化するため、加盟店を増やす活動を毎年行っているが、現状は周知広報が不足していると認識している。

## 複 合 施 設 ( まほろば館 )

**Q** 令和 2 年度の保健センターと図書館の協同事業の評価は。

**A** 新型コロナウイルスの影響で、計画通りに事業を進められなかった。しかし、普段、保健センターを利用しない小学生などに対して、栄養学や健康づくり等についての普及や啓発ができたことで、大きな成果が得られたと思う。

**Q** 令和11年度までの約10年間に10万8000冊にすることを目標とする理由は。

**A** 図書館の蔵書収納能力は、13万3210冊であり、その約8割を10年間で蔵書する計画を立てている。利用者の要望に応えることができるよう、各ジャンルから多種多様な本を収集し、魅力ある図書館づくりに努力していきたい。

**Q** 毎年 1000 万円ほど計上予定の図書購入費を削減するため、町民の方に寄贈をお願いしてはどうか。

**A** 町民に本の寄贈をお願いし、図書購入費の削減を図るには、寄贈に際してのルールづくりが必要となるため、今後調査研究していきたい。



まほろば館で朝食の大切さを学ぶ

## 特殊詐欺被害防止

**Q** 特殊詐欺等被害防止対策機器設置事業は、申請件数が 15 件で利用が少ないが十分に周知したのか。

**A** 広報誌等では 3 回周知し、町内の家電店を通じても周知してきた。今後も引き続き周知していきたい。

## マイナンバーカード

**Q** マイナンバーカードの普及率が 100% となるのは、いつ頃を予定しているのか。

**A** 国の計画に基づき作成した交付円滑化計画において、令和 4 年度中に、9 割程度の住民が取得することを目標に事業を進めている。

# まちのお金がどの 本会議と委員会で

## 放課後児童教室

**Q** 新型コロナウイルス感染症対策をどのように行っていたのか。

**A** 感染症対策としては、手洗い、検温、マスクの着用、健康チェックシートの提出、室内の消毒、換気、食事の際の黙食やパーティションの設置により対応した。

## 保育所

**Q** 広義の待機児童数が103人と非常に多いが、その対策は。

**A** 広義の待機児童数の多くは、特定の施設のみを希望する御家庭であるため、そちらを解消することは非常に困難であると考えている。

## 定住促進事業

**Q** 令和2年度で終了した定住促進事業の成果は。

**A** 平成28年度から実施した定住促進事業の成果として、申請件数351件、おおよそ1200人の定住者を確保できた。人口社会動態の減少幅の抑制と持家率の向上に一定の成果があったものと考ええる。

## 柿田川公園

**Q** 柿田川基金の考え方と今後の使い方は。

**A** 清水町柿田川基金条例に規定されているとおり、柿田川的环境保全及び柿田川公園の整備に要する経費に充て、今後は芝生広場や八つ橋等の改修、公園内のバリアフリーの向上などの検討をしていきたい。

## 農業振興

**Q** 農業を振興するために、ブランド米の振興だけでいいのか。

**A** ふるさと納税の返礼品等で、ブランド米以外にも、町内産のお米を対象とし農家を支援している。本年度アンケート調査を実施しているので、分析を進め対応していきたい。



ふるさと納税の返礼品に清水町のお米も

## 討 論 賛成 11 人 反対 2 人

**賛成  
です**

町営住宅3棟の長寿命化を図るための大規模改修事業や3カ年事業の同時通報用無線整備事業の完了など、公共施設の老朽化対策や防災対策を実施。

さらに、GIGAスクール構想に基づく情報通信ネットワークの環境整備や教育タブレット端末等の整備により小中学校における学習環境の充実が図られた。

現実問題として町債残高は増加傾向にあり、財政調整基金は著しく減少し極めて厳しい状況下ではあるが、より一層の経常経費の節減や財源確保はもとより、中長期的な視野に立った計画的な事業展開と堅実な行財政運営に努めていただきたい。

(松下 尚美 議員)

**反対  
です**

財政状況は実質単年度収支額が赤字を継続し、基金は平成29年度11億8000万円、平成30年度7億6000万円、令和元年度3億7000万と急激に減少している。

さらに、地方債残高は平成29年度に75億円だったものが、令和2年度末に90億円にまで増加し厳しい財政状況である。

今後30年間の公共施設とインフラ整備に係る費用が約600億円と見込まれているが、その中に沼津の中間処理場負担金、玉川卸団地線の新都市計画道路を造る費用は含まれていない。

現在の財政難を鑑み、大型事業を今後どうすべきか厳密に把握しないといけない。

(森野 善広 議員)

# 国民健康保険

**Q** 令和2年度末の基金残高は、1億7000万円ほどだが、基金残高についての考えは。

**A** 給付費の増大や収納率の低下により、次年度以降に県に納める事業費納付金の額に不足が生じる際には、基金を取り崩して必要額を繰り入れる。

**Q** 24時間電話相談の分析結果を国保会計や健康づくり事業にどう生かしているのか。

**A** 特に60代からの相談が多いとの報告を受けているため、成人健康栄養相談を毎月2回開催し、相談できる機会を増やすなどの対策を図っている。

**Q** コロナの影響で受診や検診を控えた方が多く、医療給付費が少なかったという解釈もある。今後、給付費が増える心配もあるが。

**A** 高額な医療費を必要とする手術等の件数は前年と同程度であり、例年以上に給付費を押し上げるようなことはないと考えます。

## 討 論

賛成 11人 反対 2人

**賛成**  
です

国保制度は、健康維持に欠かすことのできない社会保障制度だが、安定的な財政運営が難しいものと認識している。

令和2年度の歳入は、その根幹となる国保税の収納率が1.2ポイント上昇している。歳出では、増加する医療給付費を抑制するため、特定健診などを実施し、町民の健康の維持向上に努めるなど、国保財政の健全な運営努力をされたものと考えます。

(向笠 誠 議員)

**反対**  
です

当町の国保会計の問題点は、所得に対し保険税が高いことである。令和2年度の医療給付費の減は、受診控えなどが要因であり、町民の健康が向上した成果として減ったわけではない。

子どもが増えるほど均等割の負担が重くなるというのも少子化対策と逆行する。

コロナ禍で社会保障としての国保事業が不十分と考える。

(吉川 清里 議員)

# 介護保険

賛成 11人 反対 2人

**Q** 介護予防の重要性が高い中で、介護予防の予算や執行額が減っていくと、後々重症化し、介護費用が逼迫することにもなりかねない。コロナの影響を受けつつも、介護予防をどのように展開していくのか。

**A** 介護予防教室等については、委託事業者と検討しながら、感染症対策を行いつつ実施していきたい。

**Q** 介護予防事業である地域支援事業費が減少している理由は。

**A** コロナ感染拡大防止のために事業中止または縮小したことが減の要因である。

**Q** 保険給付費が増加しているが、コロナの影響はあったのか。

**A** 増加の主な要因は、認定者数、介護サービスの増加であり、コロナの影響はほとんどなかったものと考えている。



コロナ禍でもデイサービスで運動

補正予算

# 小規模事業者応援給付金

第5弾

緊急事態宣言等の影響により売上げが減少している  
町内小規模事業者に対し応援給付金を給付  
2730万円

給付額 (1事業者1回まで)

静岡県中小企業等応援金対象 : 法人10万円・個人5万円  
静岡県中小企業等応援金対象外: 法人15万円・個人10万円

対象事業者

従業員20人(商業・サービス業は5人)以下の町内小規模事業者。  
ただし、「緊急事態宣言」等の適用による県協力金を受給可能な事業所を除く。

売上高要件

以下のすべての条件を満たせば、業種は問わない。  
ア 2021年8月(9月)の売上高が、前年同月比(一昨年も可)で30%以上減少  
イ 売上高比較対象月の売上高が30万円以上であること

申請受付

令和3年11月19日(金)まで



詳細は町 HP を  
ご覧ください

**問** 今回の応援給付金は、町としてどのような点に重点を置いて対象者を設定したのか。

**答** 第4弾までの実績を分析したところ、協力金や応援金を受け取ることが困難な建設業や製造業などの業種が3割程度あることが分かった。どのような業種であつても何らかの影響はあるものと同判断し、県の応援金等への上乗せに加え、支援が手薄となつている事業者を支援するため、全ての小規模事業者を対象とした。

全員賛成

国へ意見書を提出



コロナ禍による厳しい財政状況に対処し  
地方税財源の充実を求める意見書

意見書(要旨)

新型コロナウイルスの感染拡大は、変異株の猛威も加わり、我が国の各方面に甚大な経済的・社会的影響を及ぼしており、国民生活への不安が続いている。この中で、地方財政は、来年度においても巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。

地方自治体においては、新型コロナウイルス感染症対策はもとより、地方創生、雇用対策、防災・減災対策、デジタル化や脱炭素社会の実現とともに、財政需要の増高が見込まれる社会保障等への対応に迫られているため、地方税財源の充実が不可欠である。

よって、国においては、令和4年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、地方一般財源の十分な総額を確保すること等を強く要望する。

全員賛成

清水町教育長に  
朝倉和也氏を再任

任期満了に伴う教育長の任命について同意しました。



# 6人が町政を問う

「一般質問」とは、行財政全般にわたる議員主導による政策の議論です。

感染予防対策として発言席にアクリル板を設置しています。

## 問 学校施設改修に柔軟な対応を

### 答 緊急性などを考慮して対応する



飯田 安雄

て対応する。

予算を超える場合は、補正予算で対応する。

**問** 学校からの施設改修要望への対応状況は。

**答** (教育総務課長) 今年度当初予算編成時での小中学校からの改修要望箇所は56件あった。そのうち、対応済みが4件、対応予定の箇所が20件になっている。

未対応の32件は、急を要しないか、学校運営に支障が少ないものなどである。

**問** 突然の改修が発生したときの対応は。

**答** (教育総務課長) 緊急性や重要性がきわめて高いと判断される場合は、必要額を予算内で流用し

**問** 3月に策定した学校施設長寿命化計画の概要は。

**答** (教育総務課長) 原則として、経過年数が多かつ劣化が進んでいる施設について、財政状況を考慮し、長寿命化を図る工事を優先的に検討していくものとする。

**問** 大規模改修から小さな補修まで、ケースに応じて柔軟な対応が必要と考えるが、計画外で必要とされる改修工事が生じた場合の町の考えは。

**答** (教育総務課長) 年次計画にとらわれず、必要が生じた場合には緊急性などを考慮して柔軟な対応を図りたい。

## 町道3号線の進捗は

**問** 町道3号線の工区ごとの状況と今後の計画は。

**答** (建設課長) 町事業として平成25～10年度に長沢地区の第1、第2工区を、県事業として平成11～21年度に柿田地区の第3工区を整備した。平成22年度からは、県事業で第4工区の整備、柿田橋から役場までの第5工区は第4工区の完成後に整備される予定である。

**問** 第4工区の整備状況と供用開始の予定は。

**答** (建設課長) 今年度は、電線共同溝と道路拡幅工事を進め、町道24号線交差点(柿田バス停付近)から西側の暫定供用を目指している。全体の完成は令和6年度を目標とし

ている。

**問** 柿田橋改修に向けての進捗は。

**答** (建設課長) 今年度は橋梁詳細設計を実施。設計の概要は、既設の柿田橋を残しながら、下流部に新たな橋を架橋し、完成後に既設橋の上部工を架け替える予定である。

**問** 第4工区の現状や今後の計画の周知は。

**答** (建設課長) 担当している沼津土木事務所、都市計画決定変更の説明会開催時や工事PR看板等により周知をお願いしていく。町としても各種媒体で情報提供を行っていく。



質問者の動画が見られます



問 コロナ検査の拡充と自宅療養者の支援を

答 県に情報提供を求める



森野 善広

**問** コロナの感染拡大は

静岡県東部でも異常な状態になっている（9月8日時点）。これまでの取り組みでは感染拡大を食い止めることはできず、住民の生命財産を守ることはできない。コロナは指定感染症となっており保健所が一手に管理をしているが、それでは感染防止ができないといえるのではないか。「清水町でもやれることはやる」という立場でないと、住民の命は守れないと思う。PCR検査の拡充を進め社会的検査として行う必要があると思うがどうか。

**答**（健康づくり課長）

また、今年の3月の議会です。今後、町が購入する予定である抗原検査キットの配布に向け準備を進めている」と答弁しているが、その後どうなっているか。

社会的PCR検査は、適切なタイミングの見極めが難しいと言われているので、現時点で実施は考えていない。

抗原検査キットは、町が把握できる濃厚接触者には配布している。町で把握できない方に対しては、濃厚接触者で希望があれば配布することを検討する。

**問**

保健所の仕事は、限界に達している。吉田町では、自宅療養者に生活物資を届けたりしているが、本町でも自宅療養者の管理をするべきではないか。

**答**（健康づくり課長）

県から、自宅療養者に対する適切な支援について調査があり、説明会が開催されるので、それに合わせ協力していきたいと考えている。

**答**（町長）

陽性者や濃厚接触者の情報は、保健所から提供がない限り、対応できない状況なので、県に働きかけて、情報提供をお願いしていく。

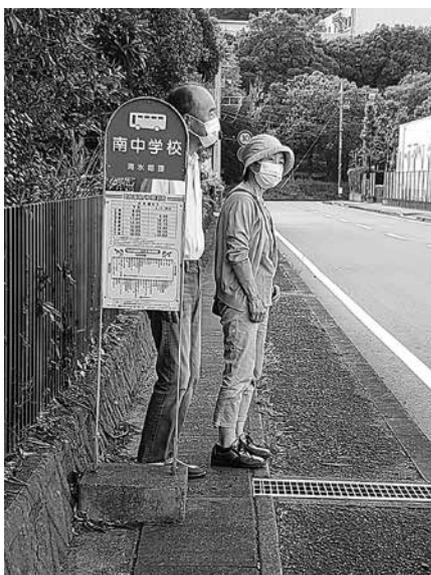
バス停にベンチを

**問** バスなどを生活の足

としている高齢者などの免許のない住民からバス停にベンチが欲しいという声がある。ベンチを設置して、高齢者などが利用しやすいようにしてはどうか。

**答**（くらし安全課長）

ベンチ等の設置可能な箇所について調査し、利用状況や周辺状況を踏まえたうえで、関係者と協議を行いながら、検討していきたい。



バス停にベンチを

質問者の動画が見られます



## 問 ごみ焼却はSDGsの理念に合致するのか

### 答 廃棄物処理を行うための焼却施設は必要



吉川 清里

**問** 令和元年に原と沼津市と清水町の担当者が、

環境省からごみ焼却場についてヒアリングを受けている。その際、町の担当課長が、外原区と「清水町に協力していく覚書」を作る予定であると発言しているが、その意図は。

**答** (くらし安全課長) 区との協議の中で、特に重要と思われる確認事項を書面で取り交わすことも想定して意見交換を行っている。そういった町の姿勢を説明したものである。

**問** 「特に重要と思われる確認事項」とは何か。外原区は新しい覚書をつくるとは聞いていない。行政側だけの認識ではないのか。

**答** (くらし安全課長) 具体的な確認事項はなく、一般的には重要である事項を取りまとめ、最終的に書面で確認を行うという町の認識である。

**問** ごみ焼却場が環境に与える影響をどう考えているのか。SDGsの理念に合致していると考えているのか。

**答** (町長) 適切な廃棄物処理を行うための焼却施設は必要であると考え、今回計画されている施設は、発生する熱エネルギーを有効活用することにより温室効果ガス発生量の抑制も図ることができ、環境負荷の低減に大いに寄与する。よって、SDGsの理念に反するものではない。

## 女性の貧困を救うには

**問** 当町では、8月から生理用品の無償配布を行っているが、その実績は。

**答** (福祉介護課長) 8月31日現在、役場12件、保健センター12件、福祉センター8件の計32件配布している。

**問** 学校のトイレに生理用品を無償で配布を求め、要望があるが、実施は。

**答** (教育総務課長) 本年6月、希望する児童生徒に無償で配布する取り扱いを定めた。配布方法は、衛生管理等の観点から保健室に常備し、相談のあった児童生徒に直接手渡している。

学校トイレへの配置は、衛生面や管理方法等につ

いて課題があることから現時点では考えていない。

**問** 離別した母子世帯への養育費の不払いを、行政が立て替えて父親に請求する制度を兵庫県明石市で行っているが、清水町でも採用できないか。

**答** (こども未来課長) 町への不払いに対するリスクや予算執行の妥当性など様々な課題があり、現時点では現実的な施策ではないと考えている。



建て替えが予定されている沼津市ごみ焼却場

質問者の動画が見られます



問 区画整理事業と農業施策は矛盾しているのでは

答 整合性が失われるものではない



山本 文博

討を行うことになる。

**問** 都市計画道路玉川卸

団地線周辺地域における土地区画整理事業の費用を捻出するには減歩以外の方法はないのか。

**答** (都市計画課長) 地権者が平等に提供することが原則とされており、事業を実施する場合、公費負担もあるが、減歩は必須であると考える。

**問** 減歩による農地の減少で営農ができなくなるのでは。

**答** (都市計画課長) 事業化後も営農を希望する方には農地として換地し、土地区画整理組合において営農ができる環境の検

**問** 土地区画整理区域内

には農地を設定せず、他地域で営農をしてもらう旨の説明は、農業施策と矛盾するのでは。

**答** (都市計画課長) 農業を継続する換地を希望する場合は、施行後も区域内に農地を残すことは可能であり、農業施策と直ちに整合性が失われるものではないと考える。

**問** 都市計画道路玉川卸

団地線の位置変更は、農家の命の水を断つことにより営農をあきらめさせ、農地を放棄させるための分断政策との疑念がある。丸池川上からの位置変更の議論内容は。

**答** (都市計画課長) 当初の決定位置等に課題があり、国交省及び県公安委

員会との協議に加え、仮称狩野川第3架橋との道路ネットワーク等を踏まえ計画案を作成し、説明会や公聴会など法的手続きを経て町都市計画審議会の御承認をいただき、都市計画決定の変更を行ったものである。

**問** 農業用水を無視し、

農地計画を立てるとは思えない。都市計画道路玉川卸団地線の道路位置を過去32年間指定されていた位置に戻すべきでは。

**答** (都市計画課長) 道路の機能やネットワークなども踏まえると、計画位置を元に戻すことは現実的ではない。

**問** 第5次総合計画に基

づく「農業施策」「土地区画整理事業」及び「都市計画道路玉川卸団地

線」に対する行政の計画・提案には、関係者間で温度差があり、感情的なすれ違いが発生している。町のトップとしてこの事

農業施策の推進は

**問** 町の農業施策の方向性・計画は。

**答** (産業観光課長) ブランド米の生産拡大への取り組みや農業、農地を次世代に継承し、地域営農を継続していくための就農プラットフォーム推進プロジェクトの研究を進める。

態をどう收拾するのか。  
**答** (町長) 関係者の合意形成を得るため、前町長や議員のお力を借り、総力を挙げて取り組む。

**問** ブランド米「するがの極」の生産拡大に向けた取り組みは。

**答** (産業観光課長) 担い手の確保対策の強化やトップセールス、広報活動の強化に努める。また、JAなんすんと連携して、更なる生産者の育成支援を農業者に働きかけていく。



もう一度見直してみよう  
清水町第5次総合計画

質問者の動画が見られます



# ここが聞きたい

## 問 電子黒板等の導入予定は

## 答 プロジェクターの導入を進めている



松下 尚美

**問** 小中学生がタブレット端末を家庭に持ち帰るとき、通信環境が整っていない家庭に対する対策や支援は。

**答** (教育総務課長) 必要な機器を案内するなど情報提供を行うとともに、就学援助の対象世帯には

通信環境についての支援制度を検討していく。また、オンライン授業等を見据え、通信機器の貸出しの準備も進めている。

**問** 保護者への理解や協力体制はどこまで進んでいるのか。

**答** (教育総務課長) 学校行事等で保護者自身が直接端末を操作する機会等を設け、利便性や学習への有効性を紹介しているところである。

**問** 授業等での活用、端末等の運用管理に関する教職員向けの研修をどのように行なっているのか。

**答** (教育総務課長) 全教職員を対象に基本的な操作等、実機を用いて研修を行った。また、各学校のICT担当教職員が講師になり各学校内で研修を行っている。

**問** デジタルコンテンツを大きく映す電子黒板等の導入予定は。

**答** (教育総務課長) 以前検討を行った中で、電子黒板は、移動や設置、操作性の不安等の意見が教職員からあがっていたことから、これらの課題が少ないプロジェクターの導入を進めている。

## 防災情報発信のあり方は

**問** 7月の大雨時、清水町防災アプリに同報無線放送内容が掲載されなかった理由は。

できる発信方法を選択していく。

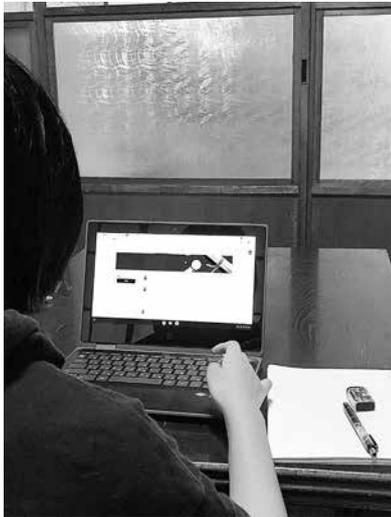
**答** (くらし安全課長) 情報収集や緊急対応など事務が錯綜する中で、入力作業操作に誤りが生じた。今後は、今回の反省を踏まえ、複数の職員で確認するよう体制の整備を図る。

**問** 住民が各避難所の混雑状況を確認できるシステムは構築されているのか。

**答** (くらし安全課長) 専用のシステムはないが、災害の状況に応じ、ホームページやSNSを活用し対処していく。

**問** 情報提供に使用される媒体と情報発信の使い分けは。

**答** (くらし安全課長) 情報提供に使用される媒体は、町ホームページ、防災メール、同報無線、防災アプリ等がある。それらの使い分けは、状況に応じて、町民に必要な情報を迅速かつ的確に提供



家庭でもタブレットで学習

質問者の動画が見られます



問 ゆうすいポイント 今後の方向性は

答 健康増進事業などと連携



桐原 直紀

**問** 平成28年にスタートしたゆうすいポイント事業。スタート当初の目的と店舗数や利用者数などの目標は。

**答** (産業観光課長) 公共サービスの利用促進や地域経済の活性化を目的に導入した。目標加盟店舗数は100店舗、目標利用者数は5000人であった。

**問** 現在の店舗数や利用回数として流通ポイント数は。

**答** (産業観光課長) 本年7月末時点での加盟店舗数は74店舗、7月1カ月の利用回数は1919

回、流通ポイント数は68万2270ポイントであった。

**問** 昨年、コロナ対策の一環で子育て世帯への支援事業として5000ポイントの入ったゆうすいポイントQRカードを約4200枚配布したが利用状況は。

**答** (産業観光課長) ポイントの利用状況は4249枚のカードを配布したのに対して4016枚の利用。利用率は94.5%であった。またポイント数は2124万5000ポイント付与したのに対し1976万6902ポイントが利用され利用率は93%であった。

**問** 本年6月にはコロナで冷え込んでいる町の経済刺激策としてゆうすい

ポイント20倍キャンペーンを実施しているがキャンペーンの効果はあったのか。

**答** (産業観光課長) 20倍キャンペーン実施期間中の本年6月17日から30日までの2週間で加盟店が発行したポイントは7万8026ポイントであった。直近の2週間に加盟店が発行したポイントが2万9534ポイントであるためキャンペーン実施により約2.6倍の効果があったと考える。

**問** 町民からは「使えるお店が少ない」といった声をよく聞く。店舗数自体は70店舗を超えてきているが、単に店舗数が増加すれば良いという訳ではない。町民が使いたくなる店舗が増えることが望ましいと考えるが、今

後、店舗数の増加に対してどういった戦略を考えているのか。

**答** (産業観光課長) 多くの利用者からの意見をもとに、現在、生鮮食品や日用品等が購入できる店舗の開拓をしている。また、ゆうすいポイント事務局と連携し新たな加盟店獲得のためのPRや営業活動を積極的に展開していく。

**問** ゆうすいポイント事業の今後の方向性は。

**答** (町長) 今後は、健康増進事業との連携や町民参加の協働まちづくり事業等でのポイント付与などの事業展開ができるように取り組みとともに、行政や加盟店だけでなく、企業や個人にも利用者付与者の両面で参画してもらおうと取り組んで研究していく。



ゆうすいポイント アプリでもカードでも

質問者の動画が見られます



# 特 集

創設 16 年目

## 念願の夢舞台

高円宮賜杯第 41 回  
全日本学童軟式野球大会  
マクドナルド・トーナメント  
出場

### 清水町ドリームキッド

今、メジャーリーグで大活躍の大谷翔平選手の話で野球界が盛り上がっている中、高円宮賜杯第 41 回日本学童軟式野球マクドナルド・トーナメント静岡県予選大会で見事優勝し、8月16日に新潟県「HARD OFF ECO スタジアム新潟」で開催された全国大会に出場した学童野球チーム「清水町ドリームキッド」を訪問しました。



# 夢は次代のオオタニサン!!

代表の太田さんに聞きました。

**清水町ドリームキッドはどんなチームですか。**

今年創立16年目の学童野球チームで『エンジョイベースボール』をスローガンに、健全な心身をはぐくむ指導方針のもと、活動しています。

昨今の子供たちの野球離れの中でも、おかげさまで34名が在団しており、近年では県大会でも好成績を残せるチームに成長しました。

今回の県代表の榮譽を誇りとして、今後もチーム一丸となってさらに精進を重ねてまいります。

主に休日の清水小学校で練習していますので、興味のある方は、ぜひ見学・体験にきてください。

監督の櫛(いちい)さんに聞きました。

**初めて全国大会の切符をつかんだ気持ちは。**

野球チームを立ち上げて16年目になりますが、これまで卒団した選手たちも、現団員もひた向きに一生懸命頑張る子供たちの集まりです。16年間で少しずつ成長した証でしょうか。頑張ることで全国大会出場という目標を達成でき、子供たちにとってはこの上ない喜びを味わえたと感じています。

全国大会出場に当たり、多くの皆様に多大なご支援をいただきお礼申し上げます。

**チームのモットーは。**

『何事にも準備』野球に限らず学校生活も私生

活も、しっかりとした準備をすることで、焦らず、慌てず、覚悟をもって物事に取り組む。そして『勝つことにこだわって』正々堂々と戦う。一生懸命頑張るからこそ負けた時に得るものが大きいと思うのです。

**静岡県予選大会と、全国大会の様子を教えてください。**

今年から投手1日70球という球数制限のため、1日2試合行われる予選大会では、投手不足が否めませんでした。5試合すべてに打ち勝って優勝しました。全国大会では、オープンングゲームを経験することができ、試合前には元メジャーリーガー上原浩治氏の始球式の球を戸倉主将が受け「が



写真提供：スポーツニッポン新聞社



んばれよ」と激励されるなど、心に残る経験をしました。序盤に3点先制されるも中盤では追いつき、終盤に2点取られるも最終回で追いつくという展開で、結果は残念ながら5対6の惜敗でしたが、大舞台で躍動する子供たちを誇らしく思う初の全国大会でした。

**チームの皆さんに聞きました。(6年生のみ)**

**これからの目標や夢は何ですか。**

**戸倉 悠吾さん** (主将・ピッチャー・キャッチャー)  
全国大会の経験を生かして、これからも努力し続けて将来はプロ野球選手になりたいです。

**秋山 璃来さん** (ショート)  
今までで一番楽しくプレーできました。チームを引っ張っていけるよう頑張ります。

**須川 駿生さん** (セカンド)  
最高の球場でタイムリーヒットを打てたことがうれしかった。次の目標はスタメン、選手権大会で県1位になる。

**井原 大翔さん** (レフト)  
最高の球場で仲間と野球ができてうれしかった。次こそはチャンスで必ず打ちたい。

**野田 尚継さん** (センター)  
全国大会に出場できてうれしかったです。もっと頑張りたいと思います。

**紀 優大さん** (ライト)  
試合はみんなで楽しめたけど、負けたのは悔しい。もっと練習して上手くなります。

**石川 青空さん** (ピッチャー)  
全国の舞台に立てて感動しました。この負けをバネにし自分の力を高めていきたいです。

**記者雑記**

取材当時は、緊急事態宣言中ということもあり、試合どころか練習すらままならない状況で、リモートでのインタビューとなりましたが、子供たちは礼儀正しく元気に答えてくれました。清水町ドリームキッドナインの野球人生にとって全国大会出場の経験はまだ序章にすぎません。

そんなナインにエールを送ります。目指せ日本一!!、目指せプロ野球!!、目指せ大リーグ!!  
(秋山治美)

# 令和2年度政務活動費を公開します

政務活動費とは、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、議会における会派（所属議員が1人あたり年額15万円が交付されるものです）に

各会派は、収支報告書に領収書を添付し議長に提出しています。年度において残余額がある場合は、町に返還しています。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により調査研究のための先進地視察や研修会の参加を見合わせたため、返還額が多くなっています。



議員もリモートによる研修を行っています。

## 令和2年度 政務活動費決算一覧表

単位:円

会派名	会派構成	会派への交付額(A)	会派での支出額(B)	内 訳				町への返還額(A-B)
				調査研究・研修費	資料作成・購入費	広報費	事務所費	
日本共産党議員団	森野善広 吉川清里	300,000	38,446	0	38,446	0	0	261,554
湧創フォーラム	佐野俊光 松浦俊介 飯田安雄	450,000	105,350	0	79,142	17,275	8,933	344,650
新生会	秋山治美 渡邊和豊 岩崎高雄 大濱博史	600,000	60,387	0	60,387	0	0	539,613
光輝会	石垣雅雄 桐原直紀 山本文博	450,000	39,049	0	39,049	0	0	410,951
泉の風	松下尚美	150,000	10,000	10,000	0	0	0	140,000
正菊の会	向笠 誠	150,000	0	0	0	0	0	150,000

### 議会を傍聴しませんか

どなたでも気軽に傍聴できます。

本会議は、事前申込みは不要です。

日程など詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

次の定例会は  
11月30日  
午前9時  
開会予定です。

### 議会録の検索をご利用ください

議会のホームページから「会議録検索システム」がご利用いただけます。

議会だよりだけではわからない実際の議論が検索できます。

(令和3年第3回定例会の会議録の公開は、11月30日を予定しています。)



### 編集後記

新型コロナウイルス感染症が世界的に広がり、静岡県でも緊急事態宣言が発令され、日常生活が制限されてきました。ワクチン接種が進んで接種率が高くなったとしても、社会はコロナ以前に戻れないかもしれません。しかし、ワクチン接種率が高ければ高いほど、一人ひとりの制限を緩和できる方向へ向かうはず。「ウィズ・コロナ」時代に対応した新しい生活様式や経済活動を促進し、皆様の声を聴き、一緒に乗り越えていきたいと思えます。

#### 発行・編集責任者

議長 松浦 俊介 (松下)

#### 広報広聴委員会

委員長 吉川 清里  
副委員長 松下 尚美  
委員 秋山 治美  
山本 文博  
飯田 安雄  
向笠 誠

この議会だよりは1万2700部製作し、1部当たりの製作費は約18円です。